

2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社ビザスク 上場取引所 東
 コード番号 4490 URL <http://visasq.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 端羽 英子
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 井無田 ゆりか TEL 050-3733-8513
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 会社HPに掲載
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家、アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	1,872	66.2	△252	—	△514	—	△541	—
2021年2月期第3四半期	1,126	61.5	131	114.9	123	114.5	127	132.7

(注) 1. 包括利益 2022年2月期第3四半期 △539百万円 (ー%) 2021年2月期第3四半期 128百万円 (134.0%)

(注) 2. 当社は、2021年11月1日にColeman Research Group, Inc. (本社：米国ニューヨーク州) を買収しておりますが、当四半期連結累計期間において同社の損益計算書は連結しておりません。そのため、上記の連結経営成績には同社の損益が含まれておりません。

(注) 3. 営業損失等が発生している理由は、M&A関連費用として営業費用に658百万円、営業外費用に261百万円を計上していることによるものです。M&A関連費用を計上する前の営業利益は406百万円 (前期比+208%)、経常利益は405百万円 (前期比+228%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は378百万円 (前期比+196%) であります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	△63.47	—
2021年2月期第3四半期	14.90	13.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	16,747	9,459	56.1
2021年2月期	1,969	1,020	51.8

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 9,393百万円 2021年2月期 1,019百万円

(注) 1. 当社は、2021年11月1日にColeman Research Group, Inc. (本社：米国ニューヨーク州) を買収しており、当四半期連結会計期間末に同社の9月30日時点における貸借対照表を連結しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	—
2022年2月期	—	0.00	—	—	—
2022年2月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	取扱高		営業収益		のれん償却前 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,380	112.5	3,400	111.9	△250	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 2022年2月期の連結業績予想につきましては、直近の良好な業績動向及び2021年8月18日に決議したColeman Research Group, Inc. の買収

を踏まえ、2021年10月15日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示し、公表しております。本買収による連結業績への影響は、第4四半期連結会計期間においてColeman社を連結することにより生じる見込みであります。「取扱高」とは、知見プラットフォーム事業において顧客から得た対価（値引控除後）の数値であり、アドバイザーへの謝礼を含みます。「のれん償却前営業利益」とは、のれん償却費を差し引かず計算した営業利益であり、営業利益+のれん償却費により計算しております。連結業績予想における「のれん償却前営業利益」の額は、M&A関連費用の見込み額約800百万円を差し引いた後の金額として△250百万円（のれん償却前営業損失）と予想しております。連結業績予想の作成にあたっては、本買収により発生すると見込まれるのれんの償却費が連結業績予想に重要な影響を及ぼしますが、その金額の算定には時間を要するため、のれん償却費を計上する前の営業損益を連結業績予想として開示することといたしました。また、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益及び1株当たり当期純損益の額については、本買収による影響を精査中であり、適正かつ合理的な算出が困難であるため、未定としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）Coleman Research Group, Inc.、除外 0社（社名）－
 当第3四半期連結会計期間にColeman Research Group, Inc.の全株式を取得し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	9,027,300株	2021年2月期	8,789,450株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	75株	2021年2月期	59株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	8,872,299株	2021年2月期3Q	8,589,637株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2021年10月15日に開示した「2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の添付資料「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用範囲の変更に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症への対応としてワクチン接種の全国的な進展など、社会的な対応が見られ、全国的に緊急事態宣言が解除されることとなりましたが、依然として幅広い産業において経済環境の回復が厳しい局面も続いております。

当社グループが属する情報・サービス系の産業においては、持ち直しの動きがみられます。BtoB情報プラットフォーム市場の売上高規模は、2021年1月～9月の合計で2,541億円（前年同期比約9%増）となっております（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査（2021年12月公表）」の「データベース」及び「各種調査」を合計）。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における知見プラットフォーム事業は、一部で新型コロナウイルス感染症による影響を受けたものの、法人クライアント口座数の増加により堅調な成長を維持しました。特に、フルサポート形式のスポットコンサル設営サービス「ビザスクinterview」においては、積極的なマーケティング施策により国内事業法人及び海外顧客の拡大が寄与しました。また、国内のコンサルティング・ファームとの良好な取引関係のもと、当社への依頼は前年同期間に比べて増加しております。このほか、「ビザスクexpert survey」、「ビザスクpartner」「ビザスクlite」などのサービスも順調に成長を続けております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末時点で国内登録者数（注）は13万人超となり、また、当第3四半期連結累計期間における当社のアレンジしたフルサポート形式のスポットコンサルによる知見提供取引の件数（「ビザスクinterview」のみ）は約2万件、取扱高は知見プラットフォーム事業全体で2,983百万円（前年同期比69%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における営業収益は1,872,244千円（前年同期比66%増）、営業損失252,086千円（前年同期は131,578千円の営業利益）、経常損失514,300千円（前年同期は123,378千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失541,244千円（前年同期は127,947千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。営業損失等が発生した理由は、当社が2021年8月18日の取締役会において決議したColeman Research Group, Inc.（本社：米国ニューヨーク州）の買収において必要となる費用（当第3四半期における四半期連結損益計算書において、営業費用の支払報酬等として658百万円、営業外費用として261百万円、計920百万円）が発生したことによるものです。

なお、当社グループは知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注）「国内登録者数」は、当社日本語webサイトにて登録をした人数の合計であります。国内登録者は、知見を提供する個人（アドバイザー）と、これを求める個人（「ビザスクlite」における依頼者。また、「ビザスクlite」を活用するための契約を締結した法人に所属し、当該契約に基づき登録された個人を含む。）に分かれております。いずれの登録者もアドバイザーとしてフルサポート形式「ビザスク」及びセルフマッチング形式「ビザスクlite」で活動することができ、また、依頼者として「ビザスクlite」を利用することができます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は16,747,619千円となり、前連結会計年度末より14,778,477千円増加しました。これは主に、Coleman Research Group, Inc. を子会社化したこと等に伴い、のれんが10,313,546千円増加する等によるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は7,287,803千円となり、前連結会計年度末より6,338,843千円増加しました。これは主に、Coleman Research Group, Inc. を子会社化したことによる買掛金や未払金などの増加のほか、買収資金を調達するための借入を行ったことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は9,459,816千円となり、前連結会計年度末より8,439,634千円増加しました。これは主に、当第3四半期連結累計期間に親会社株主に帰属する四半期純損失541,244千円を計上したことのほか、買収資金を調達するための新株及び新株予約権を発行したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,357,535	3,286,221
売掛金	411,894	1,802,632
その他	29,993	192,450
貸倒引当金	—	△28,569
流動資産合計	1,799,423	5,252,735
固定資産		
有形固定資産	23,001	55,531
無形固定資産		
のれん	—	10,313,546
ソフトウェア	—	932,597
無形固定資産合計	—	11,246,144
投資その他の資産	146,718	193,208
固定資産合計	169,719	11,494,884
資産合計	1,969,142	16,747,619
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,694	192,626
未払金	65,231	708,041
1年内返済予定の長期借入金	—	490,250
未払法人税等	50,225	91,222
前受金	333,774	1,125,795
未払賞与	—	331,051
賞与引当金	61,440	331,295
その他	129,593	56,960
流動負債合計	758,960	3,327,243
固定負債		
長期借入金	190,000	3,699,750
その他	—	260,809
固定負債合計	190,000	3,960,559
負債合計	948,960	7,287,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	388,166	420,073
資本剰余金	347,630	9,229,330
利益剰余金	282,315	△258,929
自己株式	△180	△278
株主資本合計	1,017,930	9,390,195
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,622	3,045
その他の包括利益累計額合計	1,622	3,045
新株予約権	629	66,574
純資産合計	1,020,182	9,459,816
負債純資産合計	1,969,142	16,747,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
営業収益	1,126,783	1,872,244
営業費用		
役員報酬	37,258	36,007
給料及び手当	445,772	613,793
支払報酬	31,318	696,365
賞与引当金繰入額	50,000	110,000
その他	430,855	668,164
営業費用合計	995,205	2,124,330
営業利益又は営業損失(△)	131,578	△252,086
営業外収益		
受取利息	11	12
補助金収入	1,687	4,262
為替差益	—	4,339
その他	—	1,355
営業外収益合計	1,698	9,969
営業外費用		
支払利息	6,405	10,501
為替差損	1,432	—
上場関連費用	1,983	—
資金調達費用	—	261,681
雑損失	77	0
営業外費用合計	9,897	272,183
経常利益又は経常損失(△)	123,378	△514,300
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	123,378	△514,300
法人税、住民税及び事業税	25,329	32,080
法人税等調整額	△29,898	△5,136
法人税等合計	△4,569	26,944
四半期純利益又は四半期純損失(△)	127,947	△541,244
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	127,947	△541,244

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	127,947	△541,244
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	722	1,423
その他の包括利益合計	722	1,423
四半期包括利益	128,670	△539,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,670	△539,821
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用範囲の変更に関する注記)

当第3四半期連結会計期間にColeman Research Group, Inc. の全株式を取得し、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月1日付で、IXGS Investment IV, L.P.、Kevin C. Coleman、Isaak Karaev、Hilco Trading, LLC、Cactii Investments, LLCから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が8,881百万円増加しました。また、当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使による新株の発行を含めて、当第3四半期連結会計期間末において資本金が420,073千円、資本剰余金が9,229,330千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年11月30日）

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。